

“こうべ”の社会福祉協議会の取り組み

地域福祉ネットワーク事業の推進

1. 平成28年度以降の取り組み方針

平成28年度より、主幹ネットワーカーと担当ネットワーカーの各区複数配置となり、くらし支援窓口のアウトリーチ機能を担う個別課題の支援や、地域との関係性を新たに構築する小学校区単位での地域づくり支援などに取り組んでいる。(裏面、参照)

2. 取り組み実績

(1) ニーズの掘り起し(課題の把握)

①平成28年4月～8月	321件	(内、個別課題268件)	27年度比 2.5倍 (個別 2.6倍)
②平成27年4月～8月	131件	(内、個別課題104件)	

(2) 課題の支援(ネットワーカーによる課題支援の動き)

①平成28年4月～8月	914件	(内、個別課題765件)	27年度比 3.8倍 (個別 4.5倍)
②平成27年4月～8月	241件	(内、個別課題170件)	

(3) 会議出席(課題の把握、地域団体との関係性構築)

①平成28年4月～8月	580件	27年度比 2.0倍 → 取り組むまでの課題
②平成27年4月～8月	287件	

【取組事例】 地域とのつながりをつくる「居場所」づくり

発端 平成28年2月。児童館の学童保育を利用する児童3名が17時の退館後、帰ってこないと保護者から小学校に連絡。21時に、児童館職員が児童A君の家で3名を発見。A君の母親は居なく、0時まで帰りを待ったが帰宅せず。

世帯 A君(7歳、小1、発達障害・療育手帳B2。服装は何日も一緒。)
母(29歳、生活保護、てんかん、眠剤服用、学童の昼食はおにぎりのみ)
区保健師が訪問。ネグレクトだけでなく身体虐待も疑われる。

[世帯支援会議：情報共有・役割分担・支援の方向性の決定]

個別支援 洗濯機が不具合 → 洗濯機購入に向け相談(保護課)
ゴミ、家中の落書き → ヘルパーなどの制度支援(保健師)
A君の平日の過ごし方 → 放課後等デイサービスの利用(保健師)
" 土曜日 " → 引き続き児童館(区社協)
母親の生活指導 → 引き続き指導を継続(保健師)

地域支援 地域の人と一緒に、A君の居場所づくりと学習支援を行い、迎えに来
(区社協提案) た母親と、地域との関係をつくっていく(区まちづくり課とも連携)

ふれまち協、民児協、青少協、子ども会、PTA、児童館が協働し、8月28日に「夏休みの宿題をやつけよう」を地域のコミュニティホールで実施。

区内大学の学生の協力により、学習支援と昼食タイム(レトルトカレーをメニューにし、子どもに“自分でできる力”を付ける)をサポート。区社協、区役所が協力。

この取り組みをきっかけに、このような世帯を地域の課題と理解し、地域が支えていくという考えのもと、ふれまち協を中心とした月1回の学習支援の場に発展し、課題のある世帯の子どもと地域がつながる機会となっている。

参考

社協の総合力（区社協の専門職員の連携）により進める“地域福祉ネットワーク事業”

基礎

区社協が長年、コミュニティワークで培ってきた、地域や関係機関とのネットワーク

背景

複合化する
福祉課題の増
→
制度の狭間
社会的な孤立

平成23年度から、各区社協に地域福祉ネットワーカーを配置し、「地域福祉ネットワーク事業」を実施。
平成27年度に、全区社協に1名ずつ配置完了。

取り組んできたこと

目標

住民中心による新たな支え合いの仕組みづくり、関係機関との新たなネットワーク化

取組 ⇒

制度の狭間・
社会的な孤立
の個別課題
への対応

関係機関など
へのつなぎ

地域の福祉課
題への対応に
向けた支援・
調整

地域人材の
発掘・養成

地域住民と
関係機関・関
係団体による
協議・協働の
場（地域福祉
ネットワーク
会議）の立上げ

ネットワーク
事業の理解の
促進

ネットワーク
協力者（住民）
の発掘

平成28年度から、各区社協に主幹（地域福祉ネットワーカー）と嘱託ネットワーカーを1名、
計20名に拡充配置。（北須磨支所、北神に1名の嘱託ネットワーカー配置）

平成28年度から取り組んでいくこと

新たな目標

住民が主体となって継続的に支え合うことができる“地域づくり”を進める

従来か
らの取
り組み
を充実

基礎



地域福祉
基盤の醸成

小学校区単
位を地域福
祉基盤と捉
え、課題を把
握し対応で
きる地域を
つくる

地域福祉の
プラットホ
ームの充実

住民を中心
とした関係
機関・団体に
よる協議・協
働する場を
つくる

アウトリーチ
機能の強化

狭間・複合化した
個別の福祉課題
の対応や、くらし
支援窓口との連
携によるアウト
リーチ機能の充
実と強化を図る

社会福祉法人
の地域公益
活動の支援

社会福祉法
改正に伴う、
法人の新た
な取り組み
と地域との
連携を推進

地域福祉ネットワーカーを
中心とした、区社協の専門
職員の連携による総合力

区役所

とともに

全世代・全対象型
地域包括支援

全ての人が年齢や状況を問わず、その人の
ニーズに応じた適切な支援が受けられる
地域づくり